

苦前町における
平成24年度全国学力・学習状況調査の結果

平成25年 1月

苦前町教育委員会

平成24年8月8日、北海道教育委員会から、北海道の公立学校における調査結果の概要として、「平成24年度全国学力・学習状況調査 調査結果のポイント ～抽出調査結果～」が公表された。苫前町教育委員会では、この調査結果を受けて苫前町の学力・学習状況を把握し、各学校における指導の工夫改善に生かすために、調査結果の概要をまとめたものである。

平成24年度全国学力・学習状況調査の概要

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2 調査の対象学年

ア 小学校調査

・小学校第6学年、特別支援学校小学部第6学年

イ 中学校調査

・中学校第3学年、中等教育学校第3学年、特別支援学校中学部第3学年

3 調査の内容

1) 教科に関する調査(国語、数学、理科)

・主として「知識」に関する問題[国語A、算数・数学A、理科]
・主として「活用」に関する問題[国語B、算数・数学B、理科]

2) 生活習慣や学校環境等に関する質問紙調査

・児童生徒に対する調査 ・学校に対する調査

4 調査の方式

抽出調査及び希望利用方式(抽出調査の抽出率は約30%)

5 調査期日

平成24年4月17日(火)

6 調査実施した学校・児童生徒数

【抽出調査対象校】 北海道(公立)

区分	抽出調査対象(校)	抽出学校数(校)	児童生徒数(人)
小学校	1,146	224	8,561
中学校	643	235	16,100
合計	1,789	459	24,661

* 抽出調査には札幌市を含む。

7 児童生徒調査の質問内容（質問紙調査）

学習に対する関心・意欲・態度。総合的な学習の時間。学習時間等。学校生活等。家庭でのコミュニケーション。社会に対する興味・関心。自尊意識。規範意識等。

苫前町の全国学力調査結果の概要

1 児童生徒の学力状況の概要

【小学校】

区分	国語 A 知識 正答率（％）	国語 B 活用 正答率（％）	数学 A 知識 正答率（％）	数学 B 活用 正答率（％）	理科 A 知識 正答率（％）	理科 B 活用 正答率（％）
全国	81.6	55.6	73.3	58.9	69.1	57.6
北海道	79.0	53.5	69.6	55.8	67.0	55.4
苫前町	83.6	62.7	76.7	62.8	67.7	60.7

(1) 国語 A 主として「知識」に関する問題

* 全道平均を 4.6 ポイント上回っている。

特に平均正答率が高いものは、設問 1「漢字を正しく読む」(100%)、設問 5「百科事典を読み、目的に応じて中心となる内容を捉える」(94.7%)、設問 8「日常生活で使われている慣用句の意味を正しく理解する」(94.7%)などの問題である。

課題が見られるものは、設問 2「狙いを明確にして質問する」(42.1%)で、話の中心や話し手の意図を捉えながら聞き、狙いを明確にして質問することが重要である。

* 今後は、聞く目的を明確にしながら聞くと共に、話の要点や気付いたこと、疑問に思ったことなどをメモに取りながら話を聞くことができるように指導する必要がある。

(2) 国語 B 主として「活用」に関する問題

* 全道平均を 9.2 ポイント上回っている。

特に平均正答率が高いものは、設問 2「司会として収集した情報を捉え、まとまりごとに整理する」(100%)の問題である。

課題が見られるものは、設問 1「目的や意図に応じ、適切に敬語を使いながら内容の中心を明確にして書く」(47.4%)や、設問 3「複数の記事を結び付けながら読み、事実を基にして自分の考えを書く」(31.6%)などで、目的や意図に応じ、敬語を適切に使いながら効果的に書くことや、雑誌や新聞などを読み、それらに含まれる内容や構造を捉え、自分の考えを広げたり深めたりすることが重要である。

* 今後は、丁寧語や尊敬語、謙譲語を適切に用いることができるよう繰り返し指導すると共に相手の立場に立って書く事柄を整理することができるように指導する必要がある。また、事実と感想、意見などとの関係を押さえて、自分の考えを明確に書くことができるよう指導する必要がある。

(3) 算数A 主として「知識」に関する問題

* 全道平均を7.1ポイント上回っている。

特に平均正答率が高いものは、設問1(2)「除法の計算」(100%)など、四則計算に関するものである。

課題が見られるものは、設問3(1)「場面と図とを関連付けて、二つの数量の関係を理解している」(36.3%)で、他の設問と比べ大きく落ち込んでおり、図を表すことで数量の関係を捉えることが重要である。

* 今後は、図がどのような数量の関係を表しているかについて、図を読み取る活動を取り入れ、基準量と比較量の関係を明確にすることが必要である。

(4) 算数B 主として「活用」に関する問題

* 全道平均を7ポイント上回っている。

特に平均正答率が高いものは、設問1(1)「支払い方の工夫を解釈し、おつりの金額を硬貨の種類と枚数に対応させることができる」(94.7%)である。

課題が見られるものは、設問2(2)「必要な情報を用いて、指定された高さにすることができるかどうかを判断し、その理由を記述できる」(31.6%)、設問4(3)「はかりを適切に読み取り、与えられた条件を基に筋道立てて適切な数値を取り出して割合の大小を判断し、その理由を記述できる」(31.6%)、設問5(3)「表から適切な数値を取り出して割合の大小を判断し、その理由を記述できる」(26.3%)などである。

* 今後は、筋道を立てて考えたことを説明したり、理由付けしたりすることを記述する力にまで高める必要がある。

(5) 理科

* 全道平均より、Aは0.7ポイント、Bは5.3ポイント上回っている。

特に平均正答率が高いものは、設問2(2)イ「学習した植物の成長の規則性を他の対象であるサクラに適用できる」(94.7%)、設問2(4)「植物の受粉と結実の関係について、科学的な言葉や概念を理解している」(89.5%)、設問4(2)「方位磁針の名称を書く」(89.5%)などの問題である。

課題が見られるものは、設問4(1)「方位磁針の適切な操作方法を身に付けている」(15.8%)、設問4(5)「天気の様子と気温の変化の関係についてデータを基に分析して、その理由を記述できる」(15.8%)などである。

* 今後は、観察や実験器具の適切な使い方や観察や実験のデータを正確に読み取った上で、論理的に説明する力を身に付ける必要がある。

【 中学校 】

区分	国語A知識 正答率(%)	国語B活用 正答率(%)	数学A知識 正答率(%)	数学B活用 正答率(%)	理科A知識 正答率(%)	理科B活用 正答率(%)
全国	75.1	62.3	62.1	49.3	56.1	47.8
北海道	74.2	63.1	60.8	48.1	55.8	47.2
苫前町	73.4	58.5	51.6	39.6	48.8	46.1

(1) 国語A 主として「知識」に関する問題

* 全道平均より、0.8ポイント低い正答率となっている。

設問2一「手紙の前文の最初に書かれる言葉の名称を選択する」・設問7三才「適切な語句を選択する」・設問7六1「ローマ字で書く」等の正答率は94.1%であり、相当数の生徒ができています。

設問3二『「この村の月はまるでよく熟した夏ミカンだ」に使われている表現の技法の名称を書く』のものである。正答率は38.2%であり、比喩という言葉と結び付けて、表現の技法を理解することに課題がある。設問6二「取り扱い絵表示の内容に加えて気を付けなければならないこととして適切なものを選択する」のものである。正答率は38.2%であり、本文中の情報を読み取ることに課題がある。

特に、設問7三エ「適切な語句を選択する(たなびく)」の正答率は13.0%であり、課題がある。これは、「たなびく」という言葉の意味を場面や情景と結びつけて理解していないものと考えられる。

(2) 国語B 主として「活用」に関する問題

* 全道平均より、4.6ポイント低い正答率となっている。

設問2一『「被写体」を言い換えている言葉を本文中から抜き出す』の正答率は88.2%であり、相当数の生徒ができています。

設問1三「これからどのような言葉の使い方をしたいのかを具体的な言葉の例を挙げて書く」の正答率は14.7%であり、対談者の発言の内容を取り上げて自分の考えを具体的に書くことに課題がある。

(3) 数学A 主として「知識」に関する問題

* 全道平均より、9.2ポイント低い正答率となっている。

設問5(3)「三角柱の展開図として正しいものを選ぶ」の正答率は97.1%、設問2(1)「整数の加法と減法の計算をする」の正答率は85.3%、設問5(2)「1回転させると円柱ができる平面図形として正しいものを選ぶ」の正答率は82.4%等であり、相当数の生徒が理解できています。

設問2(3)「整数aを用いて、式 $2a$ で表すことのできる数を選ぶ」の正答率は29.4%であり、文字の値が整数のときに、式の値について考察することに課題がある。設問12「一次関数を表した事象を選ぶ」の正答率は26.5%であり、具体的な事象における2つの数量の関係は、一次関数として捉えられるものがあることへの理解に課題がある。設問15(2)「フリースローでボールの入った回数と人数の関係をまとめた図から、ボールの入った回数の最頻値を求める」の正答率は20.6%であり、資料を整理した図から最頻値を読み取ることに課題がある。

特に、設問6(2)「 n 角形の内角の和を求める式で、 $(n-2)$ が表すものを選ぶ」の正答率は14.7%であり、 n 角形の内角の和を求める式 $180^\circ \times (n-2)$ における $(n-2)$ の意味の理解に課題がある。

(4) 数学B 主として「活用」に関する問題

* 全道平均より、8.5ポイント低い正答率となっている。

設問4(1)「線対称な図形を対称の軸で折り返したとき、対応する点を答える」の正答率は85.3%であり、相当数の生徒ができています。それに対して、

設問1(2)「2つの人工衛星の軌道の長さの差を求める計算から分かることを選び、その理由を説明する」の正答率は8.8%であり、数学的な結果を事象に即して解釈することを通して、成り立つ事柄を判断し、その理由を数学的な表現を用いて説明することに課題があります。

特に、設問5(3)「AEの長さを求められるようにするための方法を説明する」の正答率は5.9%であり、問題解決の方法を数学的に説明することに課題があります。6(3)「正多角形の頂点の数と正多角形の1つの外角の大きさの関係がどのような関数であるかを選び、その理由を説明する」の正答率は5.9%であり、正多角形の頂点の数と1つの外角の大きさの関係を数学的に解釈し、その関係が成り立つ理由を説明することに課題があります。

(5) 理科に関する問題

* 全道平均より、Aは7.0ポイント、Bは1.1ポイント低い正答率となっている。

設問3(1)『野外観察で、「地層のつながりや広がり方」と「地層の成因」を調べるための技能において、着目する事象と観察の観点を選ぶ』の正答率は85.3%であり、相当数の生徒ができています。

設問4(4)「食塩水がいくらでも濃くできるわけではない理由を説明する」の正答率は35.3%であり、他者からの指摘を分析し解釈して、その根拠を説明することに課題があります。また、設問4(3)「実験結果から、食塩水の中で卵にはたらく浮力の大きさを求める式を書き、浮力の大きさを求める」の正答率は23.5%であり、浮力を理解することに課題があります。

特に、設問3(3)「地層観察の結果から、過去の火山活動が活発だった時期の回数についての他者の考察を検討し、適切な回数を選び、その根拠を説明する」の正答率は8.8%であり、地層のつながりについて認識することと、他者の考察を検討し改善することに課題があります。

2 児童生徒の学習状況の概要

〔学習状況調査結果の傾向〕

質問紙調査は、子どもたちの生活習慣や学習環境などについての質問で構成されており、学習意欲、学習環境、生活の諸側面等に関する調査内容となっている。

本調査において、「している」「どちらとえばしている」と肯定的に解答した児童生徒が80%を超えたものを高い傾向、60%未満を低い傾向として分類した。

苫前町の児童生徒が高い傾向(80%以上)を示した質問事項

小学校・中学校共通

* 朝食を毎日食べている。

- * 家の人と普段（月～金曜日）、夕食を一緒に食べている。
- * 学校で友達に会うのは楽しいと思う。
- * 学校のきまりを守っている。
- * 友達との約束を守っている。
- * 近所の人に会ったときは、あいさつをしている。
- * 人の役に立つ人間になりたいと思う。

小学校のみ

- * 家の手伝いをしている。
- * 家で学校の宿題をしている。
- * 「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役立つと思う。
- * 普段の授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていると思う。
- * 普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思う。
- * 普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思う。
- * 国語の勉強は大切だと思う。
- * 国語の授業の内容はよく分かる。
- * 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。
- * 算数の勉強は大切だと思う。
- * 算数の授業の内容はよく分かる。
- * 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。
- * 算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている。
- * 観察や実験を行うことが好きだ。
- * 理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えている。
- * 理科の授業でものをつくるのが好きだ。

中学校のみ

- * 毎日、同じくらいの時刻に起きている。
- * ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。
- * 人の気持ちが分かる人間になりたいと思う。
- * いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。

苫前町の児童生徒が低い傾向（60%未満）を示した質問事項

小学校・中学校共通

- * 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たり1時間以上勉強をする。
- * 学校が休みの日に、1日当たり1時間以上勉強をする。
- * 学習塾（家庭教師含む）で勉強している。
- * 家や図書館で、普段（月～金曜日）、1日当たり30分以上読書をする。
- * 昼休みや放課後、休日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書室や地域の

図書館へ月1回以上行く。

- * 自分で計画を立てて、家で勉強している。
- * 家で学校の授業の予習をしている。
- * 家で学校の授業の復習をしている。
- * 新聞やテレビのニュースなどに関心がある。
- * 今住んでいる地域の行事に参加している。
- * 学校や塾の先生・家の人以外の地域の大人と一緒に遊んだり、勉強を教えてもらったりすることがある。
- * 年上や年下の友達と一緒に遊んだり、勉強したりすることがある。
- * 400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思わない。
- * 学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思わない。
- * 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している。
- * 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いている。
- * 長い文章を読むことは難しいと思わない。
- * 理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える。
- * 将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思う。
- * 理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしている。
- * 理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返っている。

小学校のみ

- * 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。
- * 家の人と学校での出来事について話をしている。

中学校のみ

- * 自分にはよいところがあると思う。
- * 「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役立つと思う。
- * 普段の授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていると思う。
- * 普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思う。
- * 普段の授業では、生徒の間で話し合う活動をよくやっていると思う。
- * 国語の勉強は好きだ。
- * 国語の授業の内容はよく分かる。
- * 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている。
- * 国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめりごとに内容を理解しながら読んでいる。
- * 数学の勉強は好きである。
- * 数学の授業の内容はよく分かる。

- * 数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える。
- * 数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える。
- * 数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える。
- * 数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしている。
- * 数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている。
- * 数学の問題では、言葉や式を使って最後まで解答を書こうと努力した。
- * 理科の勉強は好きだ。
- * 理科の授業の内容はよく分かる。
- * 科学や自然について疑問を持ち、その疑問について人に質問したり、調べたりすることがある。
- * 理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思う。
- * 理科の授業で、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている。
- * 理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察している。
- * 理科の授業でもの（簡単なカメラ、楽器、簡単なモーター、カイロなど）をつくることは好きだ。
- * 理科の問題では、言葉や文章などを使って最後まで解答を書こうと努力した。

苦前町の児童生徒が全道より5ポイント以上高い傾向を示した質問事項

小学校・中学校共通

- * 家の手伝いをしている。

小学校のみ

- * 家で学校の宿題をしている。
- * 学校や塾の先生・家の人以外の地域の大人と一緒に遊んだり、勉強を教えてもらったことがある。
- * 学校のきまりを守っている。
- * 普段の授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていると思う。
- * 普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思う。
- * 普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思う。
- * 算数の勉強は大切だと思う。
- * 算数の授業の内容はよく分かる。
- * 算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思う。
- * 算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える。
- * 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。

中学校のみ

- * 家の人と学校での出来事について話をしている。

苫前町の児童生徒が全道より20ポイント以上低い傾向を示した質問事項

小学校・中学校共通

- * 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たり1時間以上勉強をする。

小学校のみ

- * 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。
- * 学校が休みの日に、1日当たり1時間以上勉強をする。
- * 自分で計画を立てて、家で勉強している。
- * 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している。

中学校のみ

- * 家で学校の授業の予習をしている。
- * 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いている。
- * 国語の問題において、解答を文章で書く問題の時、全ての問題で最後まで解答を書こうと努力した。
- * 数学の勉強は好きである。
- * 数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしている。
- * 数学の問題では、言葉や式を使って最後まで解答を書こうと努力した。
- * 理科の勉強は大切であると思う。
- * 理科の授業の内容はよく分かる。
- * 理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしている。
- * 理科の授業で、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている。

〔 児童生徒質問紙から読み取れる傾向 〕

質問内容		児 童	生 徒
<月～金曜日>の起きる時刻（最多）		6時半～7時	6時半～7時
<月～金曜日>の寝る時刻（最多）		22時～23時	22時～23時
睡眠時間		7～9時間	7～8時間
月～金曜日、1日あたり 「テレビやビデオ・DVD」を 見たり、聞いたりする時間	2時間以上	84%	44%
	4時間以上	42%	18%
月～金曜日、1日あたり 「テレビゲーム」をする 時間	1時間以上	63%	47%
	4時間以上	16%	21%
月～金曜日、1日あたり 「インターネット」をする 時間	1時間以上	58%	50%
	4時間以上	5%	24%
携帯電話を持っている		21%	35%
月～金曜日、1日あたり 学校以外での学習時間（1時間以上）		16%	15%
休日1日あたりの学習時間（1時間以上）		26%	29%
学習塾（家庭教師含む）で勉強している		11%	15%
月～金曜日、1日あたり 読書をする時間	30分以上	32%	38%
	2時間以上	0%	0%
昼休みや放課後、休日に、本を読んだり、 借りたりするために、学校図書館や地域の 図書館へ月1回以上行く		21%	24%

〔 質問紙調査の結果 〕

< 学習に対する関心・意欲・態度 >

「国語の勉強が好きですか」の質問では、「好き」・「どちらかといえば好き」の割合は、全道と比べ小学生はほぼ同じであったが、中学生では低い結果であった。

「算数・数学の勉強が好きですか」の質問では、「好き」・「どちらかといえば好き」の割合は、全道と比べ小学生では高かったが、中学生は低い結果であった。

「理科の勉強が好きですか」の質問では、「好き」・「どちらかといえば好き」の割合は、全道よりも低い結果であった。

< 学習時間等 >

学校の授業時間以外の勉強時間（月～金曜日）は、全道より低い結果であった。

学校の宿題をしている児童生徒の割合は、全道と比べ小学生では高かったが、中学生は低い結果であった。

読書が好きな児童生徒の割合は、全道と比べ中学生はほぼ同じであったが、小学生では低い結果であった。

1日あたり30分以上読書をする児童生徒の割合は、全道と比べ中学生では高かったが、小学生は低い結果であった。

< 基本的な生活習慣 >

朝食を毎日食べている児童生徒の割合は、全道と比べほぼ同じであった。

< 家庭でのコミュニケーション >

家の人と学校での出来事について話をする児童生徒の割合は、全道と比べ中学生では高かったが、小学生は低い結果であった。